



源氏物語絵巻 桐壺 個人蔵

企画展

読み

継がれた

源氏物語

Thematic Exhibition  
Reading and Re-envisioning  
The Tale of Genji through the Ages

特別公開

五島美術館蔵  
国宝 紫式部日記絵巻

会期中、展示替があります

2020年

11月8日(日)

12月13日(日)

開館時間 / 午前10時～午後5時 (入館は午後4時半まで)  
休館日 / 月曜日(但し、23日月祝日は開館) 翌24日(又は休館)

※20名様以上の団体は、一般1,200円・高次生700円・小中生500円

観覧料 / 一般1,200円・高次生700円・小中生500円

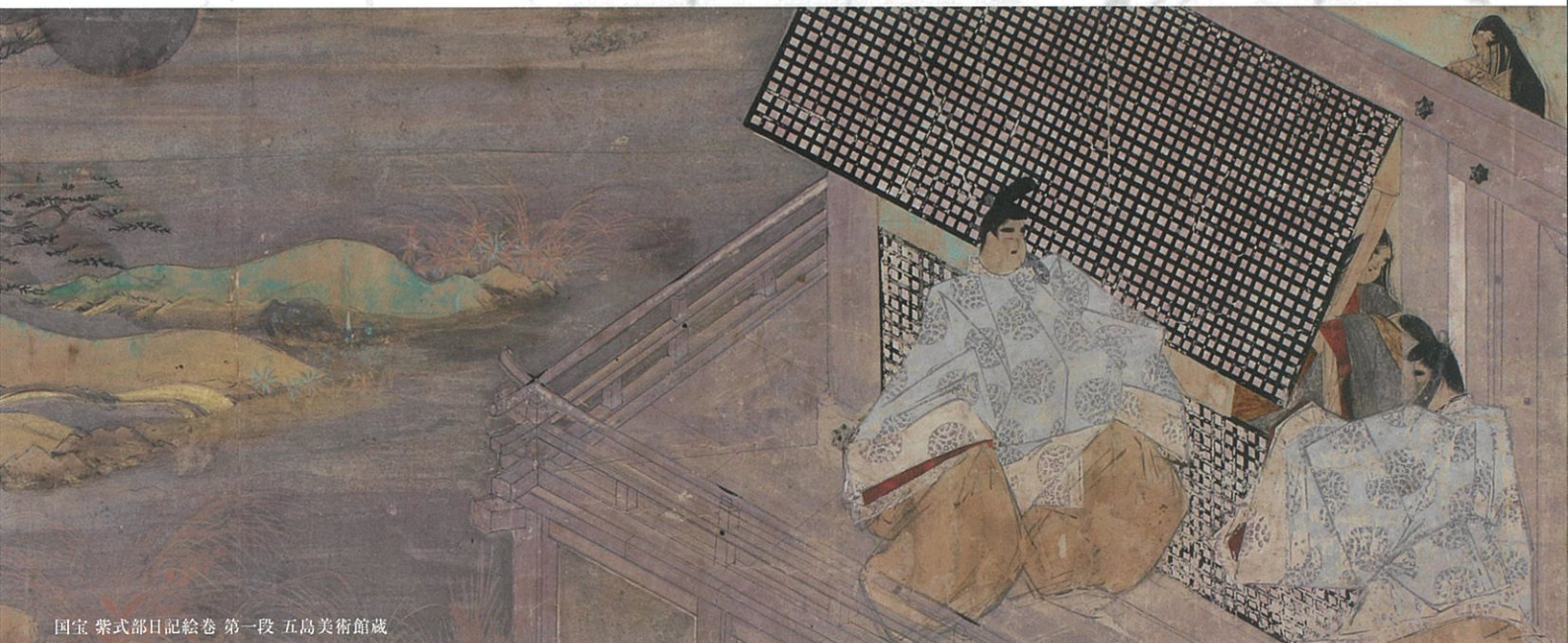
※20名様以上の団体は、一般1,000円・高次生600円・小中生400円

※土曜日は高校生以下入館無料

主催 / 徳川美術館名古屋市蓬左文庫  
協力 / 名古屋交通局



令和2年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業



国宝 紫式部日記絵巻 第一段 五島美術館蔵

徳川美術館 THE TOKUGAWA ART MUSEUM

TEL (052) 935-6262  
FAX (052) 935-6261

蓬左文庫 HŌSA LIBRARY

TEL (052) 935-2173  
FAX (052) 935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

修紫田舎源氏 柳亭種彦著・歌川国貞画  
名古屋蓬左文庫蔵



源氏物語図屏風 狩野永岳筆 六曲一双の内  
宮内庁三の丸尚蔵館蔵



企画展

# 読み継がれた 源氏物語

『源氏物語』は、現代に至るまで千年にわたり読み継がれてきた古典の名作です。その作者である紫式部による日記『紫式部日記』には『源氏物語』の成立に関わる場面が記されており、平安時代、一条天皇を中心とする宮廷生活のなかで、いかに『源氏物語』が生まれ、享受されることがわかります。

『源氏物語』は、壮大な長編物語にもかかわらず、多くの人々によって幾度となく書き写され、数多くの注釈書が著されるとともに、絵画化も図られました。後世の文学作品に多大な影響を与えたばかりでなく、和歌や能楽、茶道、香道といった日本文化にもその片鱗を見いだすことができます。

本展では、東京・五島美術館蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開するとともに、宮内庁三の丸尚蔵館や個人所蔵の源氏絵の名品を併せて展示し、日本が世界に誇る『源氏物語』の文化史をたどりつつ、その魅力を紐解きます。

源氏物語青表紙本系 三条西家本  
名古屋蓬左文庫蔵



源氏物語画帖 絵土佐光則筆  
徳川美術館蔵



新型コロナウイルス  
感染症予防対策

・マスク着用でご来館下さい。  
・当館の予防対策の詳細についてはホームページをご覧ください。  
・展示室内の混雑状況によっては、入場を制限させていただく場合がございます。

## 特別公開

国宝 紫式部日記絵巻 五島美術館蔵  
第一段、第二段 11/ 8～11/25  
第三段 11/26～12/13

国宝 源氏物語絵巻 橋姫 徳川美術館蔵  
11/26～12/13



国宝 源氏物語絵巻 橋姫 徳川美術館蔵

## 主な展示作品

重文	源氏物語絵詞 伝冷泉為相筆	徳川美術館蔵
重文	源氏物語 河内本	名古屋蓬左文庫蔵
国宝	初音時絵十二手箱	徳川美術館蔵
	源氏物語図屏風(源氏物語・平家物語図屏風のうち)	
	伝 岩佐又兵衛筆	宮内庁三の丸尚蔵館蔵
	源氏物語絵巻 桐壺	個人蔵

約50件展示

## イベント

※新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては中止となる場合があります。

### 【担当学芸員の見どころガイド】

11月23日(月・祝) 午後1時～(30分程度)

会場:講堂 定員60名 ※入館者参加自由(入館料別途要)

### 【土曜講座】

11月14日(土) 午後1時30分～3時

「源氏物語絵巻 桐壺」を読み解く 学芸部部長代理 吉川美穂

会場:講堂 定員60名 ※有料

## 次回予告

企画展「竹ー日本の美ー」

2021年1月5日(火)～1月31日(日)



墨竹図風炉先屏風 狩野常信筆(部分)  
徳川美術館蔵

## 徳川園

### 夜間開園

11月20日～23日、27日～29日

(19時30分閉園)



〒461-0023 名古屋市中区徳川町

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- JR中央線「大曾根駅」下車 南口より徒歩10分



日本の技術のまん中へ  
産業観光・ナゴヤ

